

カリキュラム・ポリシー

- 1) 本研究科の教育課程は、1～3年次に獣医学に関する高度の専門的能力と豊かな一般学識を身に付け、柔軟な思考力、広い視野、そして目的を達成するための強い意思を有して社会で活躍できるリーダーを養成する。
- 2) 研究により得られた成果を基に、4年次に学位論文を作成する。これにより、生命の科学的理解と論理的思考に基づいた研究指導により、研究者あるいは高度専門家として、自ら問題意識を持ち、獣医学を取り巻く諸問題に対応または解決できる人材を養成する。
- 3) 「共通科目（共同教育科目）」は、両大学の教員が開講する講義科目を通じて、専門とする学問領域以外の幅広く高度な獣医学的な知識を修得させ、高度な研究者及び優れた獣医学専門家としての人材養成を目的とする。この授業は双方向性メディア授業形式あるいはビデオ・オン・デマンドやE・ラーニングシステムによる受講を可能とする。
- 4) 「共通科目（専門教養科目）」は、研究者としての行動規範、倫理、知的財産の管理、専門的な英語力など、学部教育をさらに発展させたものを身に付けることを目的とする。
- 5) 「共通科目（先端実践科目）」は、獣医科学コースのみが履修する科目であり、ディプロマ・ポリシーの獣医学・医療分野で研究の国際化に対応し、実践的な英語及びコミュニケーション及びプレゼンテーション能力等を習得することを目的とする。
- 6) 「共通科目（特別専修科目）」は、獣医専修コースのみが履修する科目であり、獣医学術団体による専門医制度、認定医制度、専門家協会会員資格制度に規定された知識、技術、実務等を、複合的に実施し、高度専門家として獣医学を取り巻く諸問題に対応または解決でき得る能力を習得することを目的とする。
- 7) 「コース科目（研究推進科目）」は、学生が目指す研究領域において、研究推進のための高度な専門的知識と技術を修得することを目的とする。なお、コース科目には指導教員の特別講義の履修も含まれ、共同教育科目と同様に、メディア授業形式あるいはビデオ・オン・デマンドやE・ラーニングシステムによる受講を可能とする。

ディプロマ・ポリシー

- 1) 獣医学（動物）に関する最先端の科学技術を修得し、高度な学識と技術に基づいて研究遂行ができる能力。
- 2) 生命の科学的理解と論理的思考、高い生命倫理観と研究者倫理観に基づき、研究者あるいは高度専門家として、自ら問題意識を持ち、獣医学を取り巻く諸問題に対応または解決できる能力。
- 3) 獣医学・獣医療分野で研究の国際化に対応できる実践的な英語及びコミュニケーション能力。
- 4) リーダーとして高い素養を備え、社会で活用できる能力。

カリキュラム・マップ

カリキュラム・ポリシー	1年		2年		3年		4年		ディプロマ・ポリシー
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
2							博士論文		
1.3			基礎獣医学特別講義（共通科目：共同教育科目） 応用獣医学特別講義（共通科目：共同教育科目） 臨床獣医学特別講義（共通科目：共同教育科目）						1)
1.4			知的財産特論（共通科目：専門教養科目） 専門科学英語スキル（共通科目：専門教養科目） 研究者行動規範特論（共通科目：専門教養科目）						2)
1.5			プレゼンテーションスキル（共通科目：先端実践科目） 学術情報収集スキル（共通科目：先端実践科目） 機関研修スキル（共通科目：先端実践科目）						3)
1.7			基礎獣医学特別講義・応用獣医学特別講義・臨床獣医学特別講義（コース科目：共同教育科目） 基礎獣医学特別演習・応用獣医学特別演習・臨床獣医学特別演習（コース科目：研究推進科目） 基礎獣医学特別実験・応用獣医学特別実験・臨床獣医学特別実験（コース科目：研究推進科目）						4)

カリキュラム・ポリシー

- 1) 本研究科の教育課程は、1～3年次に獣医学に関する高度の専門的能力と豊かな一般学識を身に付け、柔軟な思考力、広い視野、そして目的を達成するための強い意思を有して社会で活躍できるリーダーを養成する。
- 2) 研究により得られた成果を基に、4年次に学位論文を作成する。これにより、生命の科学的理解と論理的思考に基づいた研究指導により、研究者あるいは高度専門家として、自ら問題意識を持ち、獣医学を取り巻く諸問題に対応または解決できる人材を養成する。
- 3) 「共通科目（共同教育科目）」は、両大学の教員が開講する講義科目を通じて、専門とする学問領域以外の幅広く高度な獣医学的な知識を修得させ、高度な研究者及び優れた獣医学専門家としての人材養成を目的とする。この授業は双方向性メディア授業形式あるいはビデオ・オン・デマンドやE・ラーニングシステムによる受講を可能とする。
- 4) 「共通科目（専門教養科目）」は、研究者としての行動規範、倫理、知的財産の管理、専門的な英語力など、学部教育をさらに発展させたものを身に付けることを目的とする。
- 5) 「共通科目（先端実践科目）」は、獣医科学コースのみが履修する科目であり、ディプロマ・ポリシーの獣医学・医療分野で研究の国際化に対応し、実践的な英語及びコミュニケーション及びプレゼンテーション能力等を習得することを目的とする。
- 6) 「共通科目（特別専修科目）」は、獣医専修コースのみが履修する科目であり、獣医学術団体による専門医制度、認定医制度、専門家協会会員資格制度に規定された知識、技術、実務等を、複合的に実施し、高度専門家として獣医学を取り巻く諸問題に対応または解決でき得る能力を習得することを目的とする。
- 7) 「コース科目（研究推進科目）」は、学生が目指す研究領域において、研究推進のための高度な専門的知識と技術を修得することを目的とする。なお、コース科目には指導教員の特別講義の履修も含まれ、共同教育科目と同様に、メディア授業形式あるいはビデオ・オン・デマンドやE・ラーニングシステムによる受講を可能とする。

ディプロマ・ポリシー

- 1) 獣医学（動物）に関する最先端の科学技術を修得し、高度な学識と技術に基づいて研究遂行ができる能力。
- 2) 生命の科学的理解と論理的思考、高い生命倫理観と研究者倫理観に基づき、研究者あるいは高度専門家として、自ら問題意識を持ち、獣医学を取り巻く諸問題に対応または解決できえる能力。
- 3) 獣医学・獣医療分野で研究の国際化に対応できる実践的な英語及びコミュニケーション能力。
- 4) リーダーとして高い素養を備え、社会で活躍できる能力。

カリキュラム・マップ

カリキュラム・ポリシー	1年		2年		3年		4年		ディプロマ・ポリシー
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
2							博士論文		
1.3									1)
1.4									2)
1.6									3)
1.7									4)

基礎獣医学特別講義（共通科目：共同教育科目）
応用獣医学特別講義（共通科目：共同教育科目）
臨床獣医学特別講義（共通科目：共同教育科目）

知的財産特論（共通科目：専門教養科目）
専門科学英語スキル（共通科目：専門教養科目）
研究者行動規範特論（共通科目：専門教養科目）

特別専修スキル（共通科目：特別専修科目）

基礎獣医学特別講義・応用獣医学特別講義・臨床獣医学特別講義（コース科目：共同教育科目）
基礎獣医学特別演習・応用獣医学特別演習・臨床獣医学特別演習（コース科目：研究推進科目）
基礎獣医学特別実験・応用獣医学特別実験・臨床獣医学特別実験（コース科目：研究推進科目）